

平成 2 3 年度
与謝野町織物実態統計調査報告書

与 謝 野 町

はじめに

この報告書は、平成23年12月31日現在を調査基準日として本町の基幹産業である織物業の実態を把握し、生産活動に関する基礎資料を得ることを目的に実施し、その結果をまとめたものです。

この報告書が本町の織物振興を図るうえでの資料にとどまらず、関係団体においても業務上の参考資料として、広く活用していただければ幸いに存じます。

なお、この調査を実施するにあたってご協力いただいた皆様に対し、心からお礼申し上げますと共に、関係機関とも連携を密にして、織物業の振興に努めてまいり所存ですので関係者の皆様の一層のご協力とご指導をお願い申し上げます。

平成24年5月

与謝野町

利用上の注意

調査目的

本調査は、本町における織物業の実態を明らかにし、織物業の振興を図るうえでの基礎資料を得ることを目的に実施したものです。

調査基準日

平成23年12月31日

調査対象事業所

自工場内において、自己所有織機又は借機によって織物を製織している全ての事業所を対象とします。(現在休止中であっても、将来再開する意志がある場合も対象とします)

調査方法

与謝野町織物実態統計調査委員による訪問による調査(調査員27名)

秘密の保持

この調査の基礎となる調査票は秘密を保持するため、いかなる場合でも他目的への使用および閲覧を許可しません。

用語の説明

後染織物

生糸等を主原料として、製織後さらに精練、染色を行わなければ完成品とみなされない織物。

先染織物

製織前の原糸に精練、染色を行い、その後製織する織物。

手 張

商社等から原糸を買い取り、自工場で原糸加工（撚糸等）や製織を行ったり、出機を有し、糸を支給して製織させて製品を問屋に販売する経営形態をいう。

賃 織

手張等（親機）から加工（撚糸・整経）した糸の支給を受け、自工場で主として家族従事者により製織し、製品は手張や歩機に納入して織工賃を得る形態をいう。織物業者のほとんどがこの形態である

従 業 者

家族従業者、雇用労働者の総数

調査結果の概要

事業所について

1. 経営実態別

本調査における調査対象事業所の総数は551事業所で、うち操業中が539事業所(97.8%)、休業中が12事業所(2.2%)となっている。

地域別にみると、加悦地域では操業中が165事業所、休業中が7事業所、岩滝地域では操業中が117事業所、休業中が1事業所、野田川地域では操業中が257事業所、休業中が4事業所となっている。

平成20年度に実施した前回調査と比較すると、総事業所数では680事業所から129事業所(19.0%)の減少、操業中の事業所数では649事業所から110事業所(16.9%)の減少となっている。また、平成17年度(合併前)と比較すると、総事業所数では884事業所から333事業所(37.7%)の減少、操業中の事業所数では841事業所から302事業所(35.9%)の減少となっており、6年間で4割弱の事業所が廃業となっている。

2. 経営組織別

経営組織別では、個人が510事業所(94.6%)、株式会社が22事業所(4.1%)、有限会社が6事業所(1.1%)となっており、個人の占める割合が圧倒的に高い。

地域別にみると、加悦地域では個人が153事業所、株式会社が9事業所、有限会社が3事業所、岩滝地域では個人が107事業所、株式会社が7事業所、有限会社が2事業所、その他が1事業所、野田川地域では個人が250事業所、株式会社が6事業所、有限会社が1事業所となっている。

3. 事業所実態別

事業所実態別では、手張が56事業所(10.4%)、賃機が469事業所(87.0%)、両方が14事業所(2.6%)となっており、賃機形態が圧倒的に多い。

地域別にみると、加悦地域では手張が14事業所、賃機が144事業所、両方が7事業所、岩滝地域では手張が25事業所、賃機が87事業所、両方が5事業所、野田川地域では手張が17事業所、賃機が238事業所、両方が2事業所となっている。

4. 織物の種類

事業所を後染・先染別にみると、後染が172事業所（31.9%）、先染が399事業所（62.9%）、両方が28事業所（5.2%）となっており、先染織物事業所が後染織物事業所の2倍以上となっている。

地域別にみると、加悦地域では後染が50事業所、先染が102事業所、両方が13事業所、岩滝地域では後染が75事業所、先染が38事業所、両方が4事業所、野田川地域では後染が47事業所、先染が199事業所、両方が11事業所となっている。

5. 専業・兼業別

事業所を専業・兼業別にみると、専業が416事業所（77.2%）、兼業が123事業所（22.8%）と、圧倒的に専業が多い結果となっている。

また、兼業の内訳では、農業、給与所得、その他、サービス業の順となっている。

織機台数について

6. 稼働・非稼働別織機台数

工場内に設置されている総織機台数は2,428台で、そのうち稼働台数が1,749台（稼働率72.0%）、非稼働台数が679台（非稼働率28.0%）でとなっており、非稼働台数のうち447台（65.8%）が1年以上非稼働状況となっている。

前回調査と比較すると、総織機台数は2,717台から289台（10.6%）の減少、そのうち稼働織機台数は2,011台から262台（13.0%）の減少となっている。また、平成17年度調査と比較すると、3,701台から1,273台（34.4%）の減少、そのうち稼働織機台数は2,944台から1,195台（40.6%）の減少となっており、6年間で織機台数が約4割減少している。

7. 織物別稼働織機台数

稼働織機台数を織物別にみると、後染織物が896台（51.2%）、先染織物が853台（48.8%）となっている。織物の種類別では、先染織物事業所が後染織物事業所の2倍以上あったのに対し、織機数ではほぼ同数となっている。

品種別にみると、帯類530台（30.3%）と最も多く、次いで紋織物が465台（26.6%）、先染・広幅織物が209台（11.9%）、小物織物205台（11.7%）の順となっている。

従業者数について

8. 総従業者数・家族従業者・雇用従業者

本調査による従業者総数は1,059人で、家族・雇用別にみると、家族従業者が907人(85.6%)、雇用従業者が152人(14.4%)となっており、家族従業者の割合が圧倒的に多い。

年齢別構成比では、10歳代が0.6%、20歳代が0.6%、30歳代が1.7%、40歳代が6.1%、50歳代が15.3%、60歳代が41.1%、70歳代が29.2%、80歳以上が5.5%となっている。60歳代以上が全体の75.7%(802名)を占め、前回調査時の67.1%を上回っていることから、高齢化がいつそう進んでいるといえる。

男女別構成比では、男性従業者が460人(43.4%)、女性従業者が599名(56.6%)となっており、女性従業者の占める割合がやや多い。

前回調査と比較すると、1,262人から203人(16.1%)の減少、さらに平成17年度調査と比較すると、1,714人から655人(38.2%)の減少となっており、6年間で約4割減少している。

取引先について

9. 織物別・地域別取引先

後染、先染ともに、京都市内との取引がもっとも多く、あわせて731件(55.4%)と全体の半分以上を占めている。

次いで町内が404件(30.6%)、他都道府県が111件(8.4%)、その他府内が73件(5.5%)の順となっている。また、後染においては、海外との取引を行っている事業所が2件となっている。

最近の状況について

10. 従業者の状況

回答事業所538事業所のうち、変化なしが452事業所(84.0%)、減少が84事業所(15.6%)である一方、増加した事業所はわずか2事業所(0.4%)となっている。減少した理由としては、高齢化が最も多く、次いで退職、その他、パートによる他業種への転業・転職、常勤で他業種への転業・転職の順となっている。

11. 織機の稼働状況

平成23年中の稼働状況について、回答事業所538事業所のうち、順調に稼働が270事業所(50.2%)、半年間程度の稼働が139事業所(25.8%)、極めて低いが92事業所(17.1%)、7~8割程度の稼働が37事業所(6.9%)となっている。

順調に稼働している事業所が約半数を占める一方で、半年未満の稼働となっている事業所も4割強を占めている。

12. 生産の状況

回答事業所532事業所のうち、前年と比較して横ばいが270事業所(50.8%)、減少が253事業所(47.6%)となっており、増加はわずか9事業所(1.7%)となっている。

今後の機業経営について

13. 後継者

回答事業所532事業所のうち、後継者がいると回答した事業所が28事業所である一方、いないと回答した事業所は506事業所と全体の95%を占めており、今後さらなる事業所数の減少が予想される。

13. 規模

回答事業所510事業所のうち、拡大がわずか3事業所(0.6%)であるのに対し、現状維持が315事業所(61.8%)、縮小が193事業所(37.8%)となっており、ほとんどの事業所が現状維持か規模縮小となっている。

13. 設備投資の予定

回答事業所524事業所のうち、あるが6事業所(1.1%)、検討中が17事業所(3.2%)であるのに対し、ないが501事業所(95.6%)となっており、設備投資を考える事業所は極めて少ない結果となっている。

13. 転業・廃業

近い将来の転業・転職・廃業について、回答事業所533事業所のうち、考えているが301事業所(56.5%)、考えていないが232事業所(43.5%)となっている。

考えている事業所のうち296事業所が廃業を考えており、廃業理由としては、高齢化、業況、後継者の順となっている。

転業・転職の職種については、ほとんどが未記入であったが、記入の中では飲食業があった。

意見要望等(一部要約)

<行政・商工会・丹工に対する意見・要望>

- クールビズを国が指導したため、ネクタイの需要が激減した。昨年(2011年)の3月11日の震災で4ヵ月が6ヵ月に延びたのも大きな原因だ。
- 国のノーネクタイを止めてほしい。ネクタイ業者は減少する一方だ。
- クールビズの期間を少なくしてほしい。
- 実態統計調査に対する報告書・結果のデータが早く欲しい。
- 機料品もない。
- 織機を買い取って欲しい。
- 取次店によって工賃がまばらで、工業組合で京都の組合と話し合い、品物の工賃を決めて欲しい。
- 国・府・町・商工会・丹工も、もっと着物を着用すべき。
- 府、丹工共、先染織物に対して、あまりにも知らぬ顔をしていました。農家には大変な補助が出ているが織物業は何もない。
- 組合費の見直しをお願いしたい。組合に入っているがメリットがない。
- 農業関連への手当ては多いが織物業には少ない。なぜテコ入れしないのか、気がない。としか言いようがない。
- 織物業にも補助をお願いしたい。
- 転業したいが、資金などを支援してほしい。
- 景気の上昇を待つしかない。他に要望しても打つ手なし。
- 景気が良くなったら着物も買ってくれるかもしれない。
- 町の職員の質が悪い。これでは機屋も良くならない。
- 機直しする人を商工会においてほしい。

- 商工会の修理費用の一部補助金制度は大変よい。
- 国を挙げて日本文化の見直しに着手すること。
- 多種支援策をいただき感謝している。今後ともさらなる支援をお願いしたい。

<機業経営についての意見>

- 織賃は安くなるばかりで、織機の調子が悪くなれば何をしているのか分からない。
- 仕事はあっても織賃が安すぎて希望がない。
- 賃金が安すぎて身動きが取れない。
- 工賃が極めて低い。高校生のアルバイトより低い。
- 労働時間の割りに収入が少ないので、先行きが不安。
- 今後、工賃が安い為、後継もなくなり存続が危ぶまれる。
- 30手前の工賃では若者は製織しない。
- 賃織だが、昔と比べて難物が出た場合、加工賃も含めて難引され、何の相談もなく言われるままで厳しい。
- 最低工賃は12丁で約15銭と決められているが、全体では約10%しか守られてない。一般的には1越5銭~10銭以内の織工賃で織っているところがほとんど。これを守らせることが丹後機業の将来にとって何よりも大切。守られてない原因は、家内労働法上の委託者が丹後の代行店であるという監督署の理解にある。丹後の代行店は西陣のメーカーから最賃の15銭ももらってないため、払えないのが実体である。
- 京都西陣より仕事を取ってくる代行店が利ザヤを取りすぎていると思える。
- 直接、京都と取引がしたいが、京都の会社の信用調査がしてほしい。堅い取引先かどうか確認したい。
- 部品が少なくなってきたおり、確保が困難。何とかならないか。
- 織機の修理に金がかかりすぎ利益が出ない。
- 機械修理が出来なくなったら、廃業を考えなければならない。
- 部品、パーツなどの補点が展望なし、このままではギリ貧状態となる。
- 生きがいと思って仕事をしている。
- 個人で努力するしかない

<振興策についての意見・要望>

- 補助金制度の拡充。
- 織物業の減少により孤立化の傾向にあり、騒音の問題がある。防音化（工場）の補助金を設けて欲しい。
- 新商品開発費の増額。販路開拓に対する費用の拡大。
- 新商品への支援とその販路拡大。

- 新商品発表の場の開拓。
- 織機の修理管理費の補助をお願いしたい。
- 近代化設備の助成金をその商品の6割位は負担して欲しい。(例：DJの買い替え等)
- 新商品の開発への支援は足りない。販路開拓の為に支援を増やして欲しい。特に現状の数社から1社、及び個人経営への支援を拡大して欲しい。
- 商工会による織機調整がなくなったので、町で織機調整をしてほしい。
- 高齢のため将来に希望が持てないが、情報提供を希望する。
- FD(CGS)からCGSと変わる中、機械の更新が非常に高額であるため、将来FDおよびFDDの在庫がなくなってしまった時、非常に不安。現在町では助成制度があるが十分ではなく、かなりの出費をしなければならない。
- 今の機織者は、年金支給者の老化防止のためのアルバイトと同じ。とても産業とはいえない。織工賃を1台につき1000円上げないと、丹後ちりめんはあと10年もたない。どんな振興策をしても無駄になる。
- 織機修理補助金は絶対に打ち切りはしないで欲しい。
- 町、独自で融資の貸し付があれば良い。そうすれば設備資金に当てられる。
- 機械修理が出来なくなったら、廃業を考えなければならない。
- 織機ジャカード(村田等)部品がない。またダイレクトが古くなっており、更新が必要だが、価格が高すぎて手が出ない。何か支援を。

調査結果データ集

事業所について

- 1．経営実態別
- 2．経営組織別
- 3．事業所実態別
- 4．織物の種類
- 5．専業・兼業別

織機台数について

- 6．稼働・非稼働別織機台数
- 7．織物別稼働織機台数

従業者数について

- 8．総従業者数・家族従業者数・雇用従業者数

取引先について

- 9．織物別・地域別取引先

最近の状況について

- 10．従業者の状況
- 11．織機の稼働状況
- 12．生産の状況

今後の機業経営について

- 13． 後継者 規模 設備投資の予定 転業・廃業

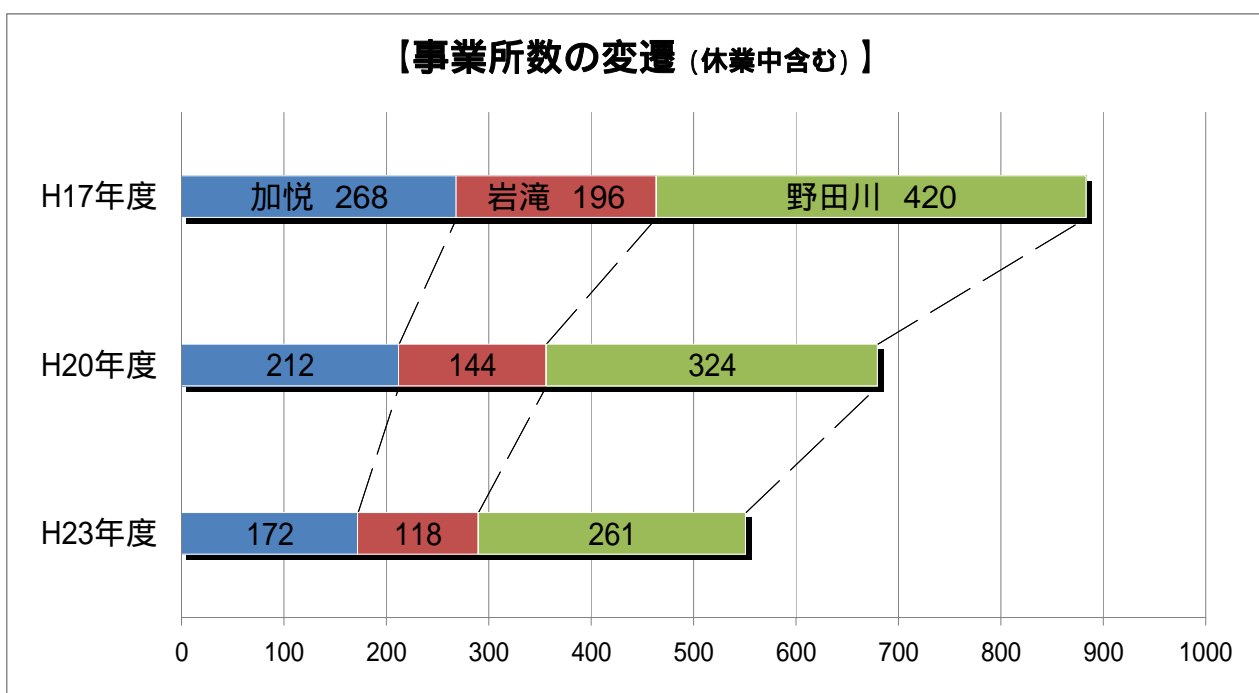
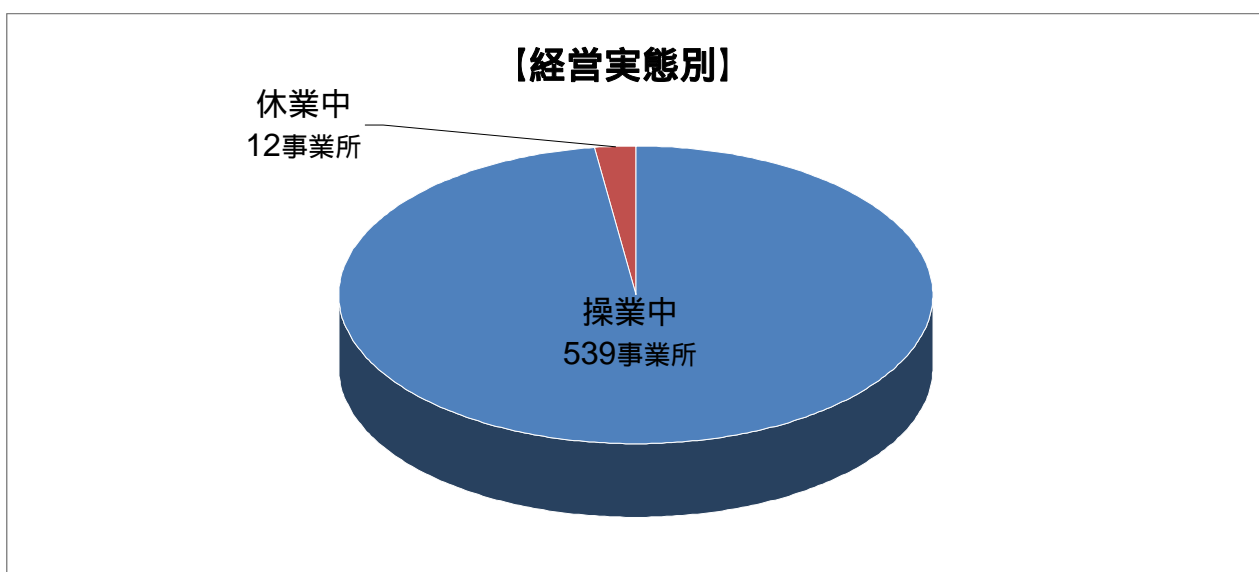
参考資料

平成23年度与謝野町織物実態統計調査票

1. 経営実態別

地域別	事業所数	操業状況			構成比	
		操業中	休業中	未回答	操業中	休業中
与謝野町	551	539	12	0	97.8%	2.2%
加悦	172	165	7	0	29.9%	1.3%
岩滝	118	117	1	0	21.2%	0.2%
野田川	261	257	4	0	46.6%	0.7%

H20年度	H17年度
680	884
212	268
144	196
324	420

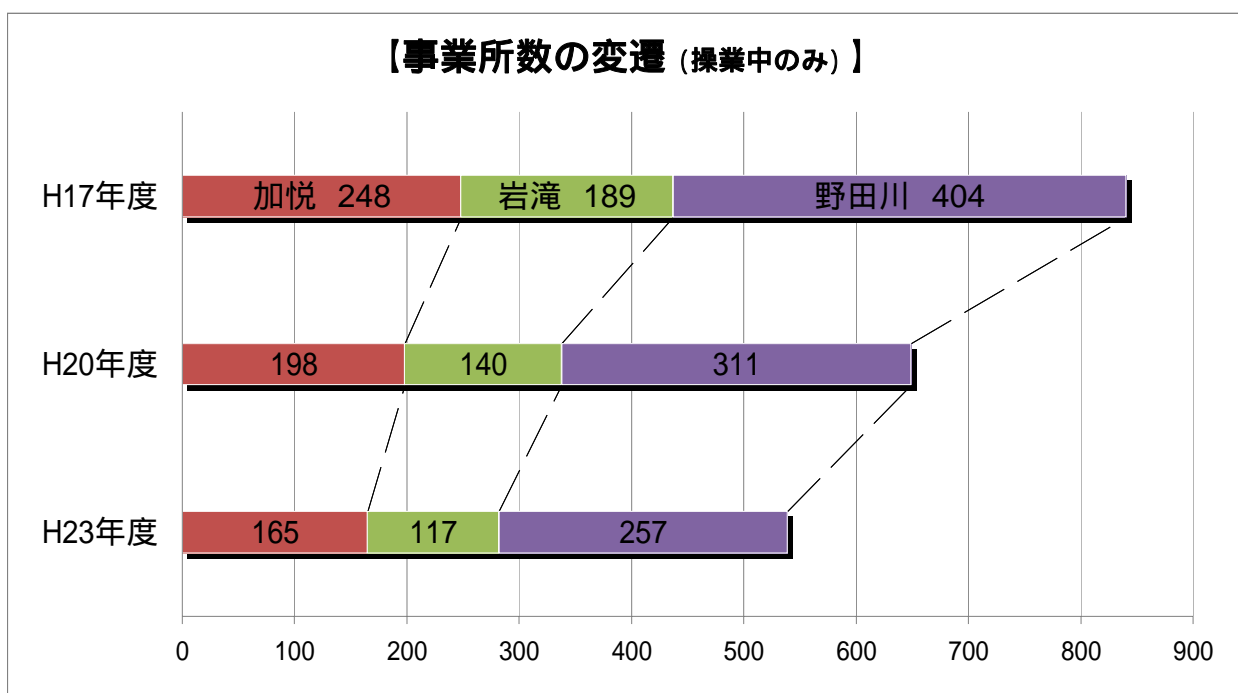
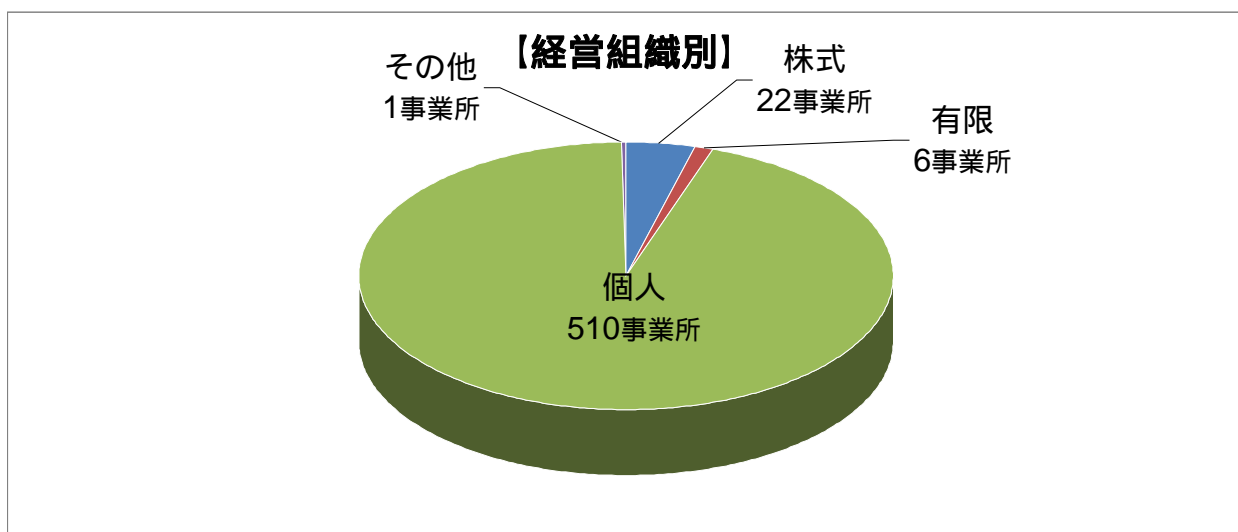


2. 経営組織別

地域別	事業所数	経営組織				構成比			
		株式	有限	個人	その他	株式	有限	個人	その他
与謝野町	539	22	6	510	1	4.1%	1.1%	94.6%	0.2%
加悦	165	9	3	153	0	1.7%	0.6%	28.4%	0.0%
岩滝	117	7	2	107	1	1.3%	0.4%	19.9%	0.2%
野田川	257	6	1	250	0	1.1%	0.2%	46.4%	0.0%

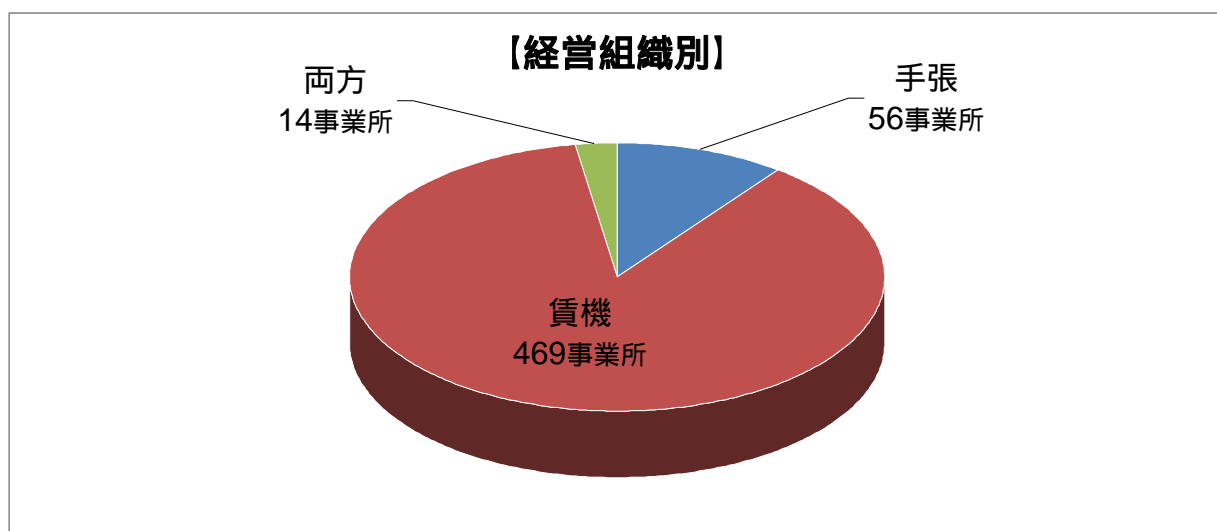
H20年度	H17年度
649	841
198	248
140	189
311	404

その他：合資会社（1）



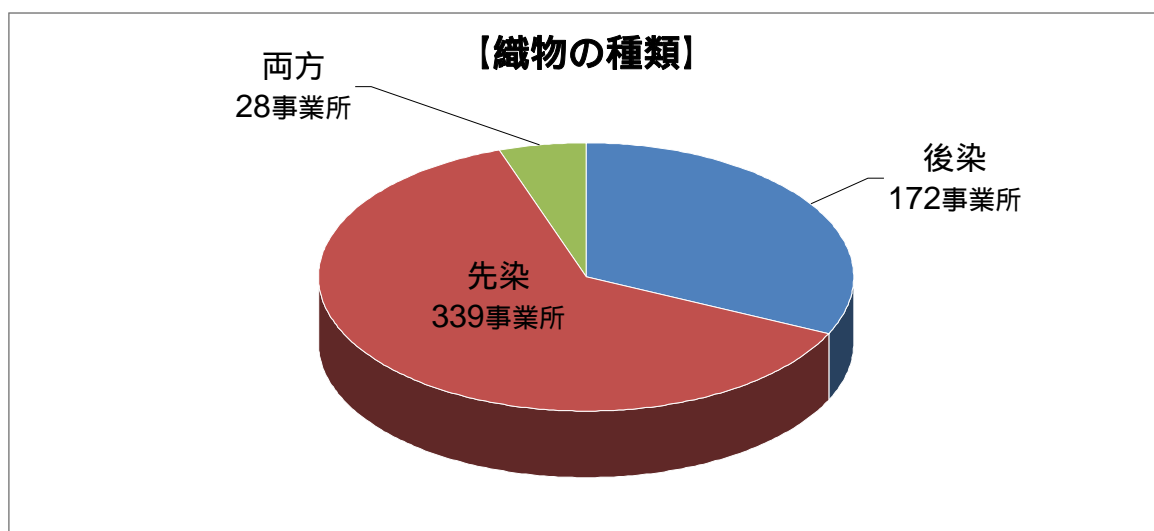
3 . 事業所実態別

地域別	事業所数	事業所実態				構成比			
		手張	賃機	両方	未回答	手張	賃機	両方	未回答
与謝野町	539	56	469	14	0	10.4%	87.0%	2.6%	0.0%
加 悦	165	14	144	7	0	2.6%	26.7%	1.3%	0.0%
岩 滝	117	25	87	5	0	4.6%	16.1%	0.9%	0.0%
野田川	257	17	238	2	0	3.2%	44.2%	0.4%	0.0%



4 . 織物の種類

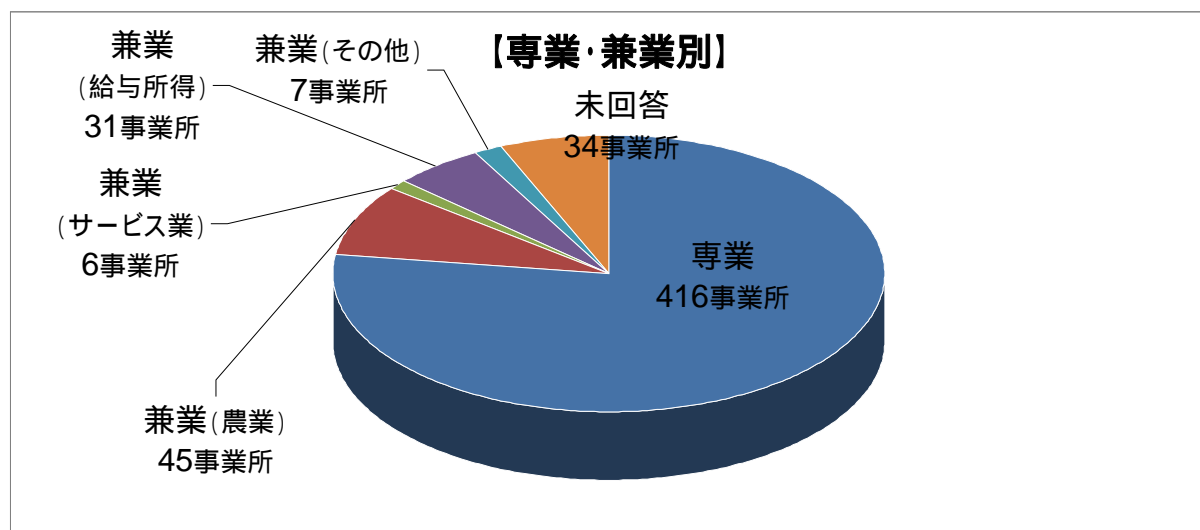
地域別	事業所数	織物の種類				構成比			
		後染	先染	両方	未回答	後染	先染	両方	未回答
与謝野町	539	172	339	28	0	31.9%	62.9%	5.2%	0.0%
加 悦	165	50	102	13	0	9.3%	18.9%	2.4%	0.0%
岩 滝	117	75	38	4	0	13.9%	7.1%	0.7%	0.0%
野田川	257	47	199	11	0	8.7%	36.9%	2.0%	0.0%



5 . 専業・兼業別

地域別	事業所数	専業	兼業					
			合計	農業	サービス	給与所得	その他	未回答
与謝野町	539	416	123	45	6	31	7	34
加 悦	165	113	52	26	4	10	1	11
岩 滝	117	101	16	2	2	2	3	7
野田川	257	202	55	17	0	19	3	16

その他：年金（3）、鉄工業（1）、運送業（1）、織物取次代行（1）、未回答（1）

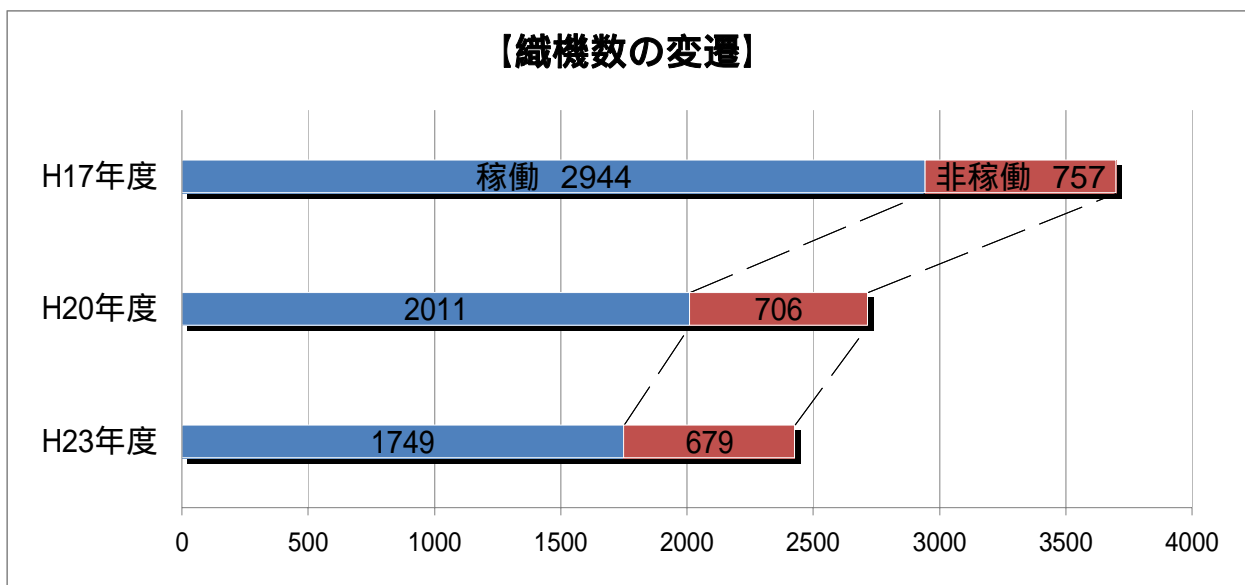
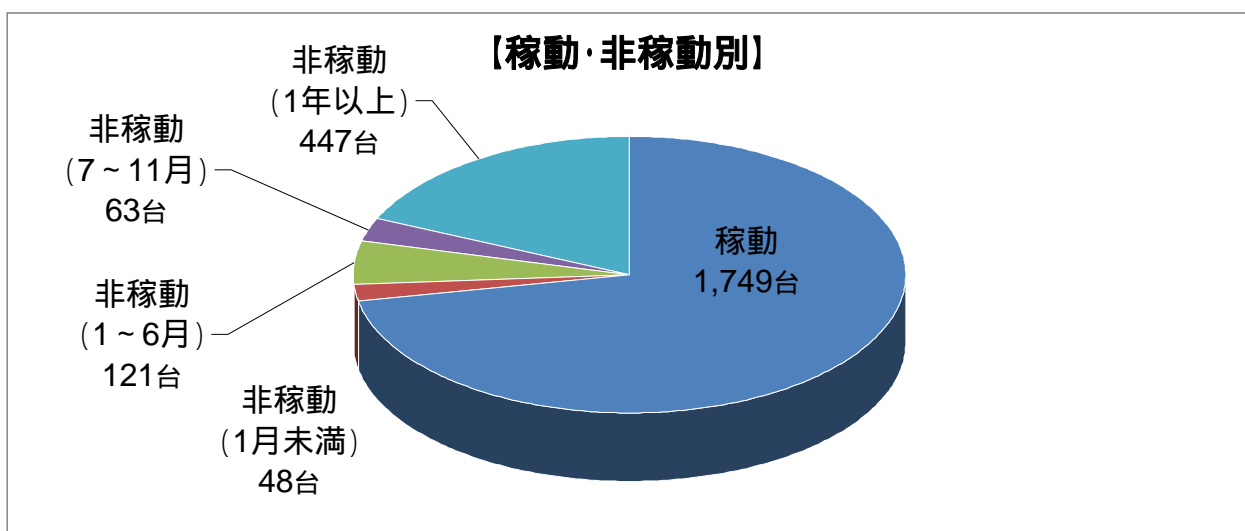


6. 稼働・非稼働別織機台数

地域別	織機台数	稼働台数	非稼働台数				
			合計	1月未満	1～6月	7～11月	1年以上
与謝野町	2,428	1,749	679	48	121	63	447
加悦	719	516	203	21	46	21	115
岩滝	719	497	222	8	33	15	166
野田川	990	736	254	19	42	27	166

H20年度 (織機台数)	H17年度 (織機台数)
2,717	3,701
781	978
803	1,244
1,133	1,479

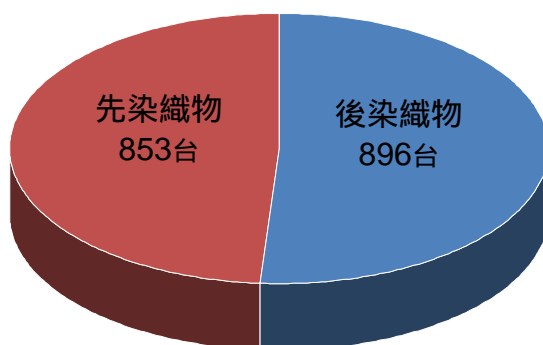
操業状態「休業中」の方の織機台数も含む。



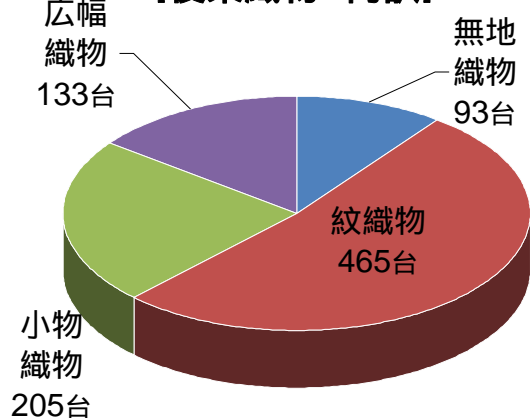
7. 織物別稼働織機台数

地域別	後染織物				先染織物				稼働台数	H20年度 (稼働台数)	H17年度 (稼働台数)		
	合計	無地織物	紋織物	小物織物	広幅織物	合計	着尺	帯類				広幅織物	その他
与謝野町	896	93	465	205	133	853	42	530	209	72	1,749	2,011	2,944
加悦	261	12	235	12	2	255	10	150	79	16	516	589	775
岩滝	384	73	59	166	86	113	9	58	31	15	497	594	982
野田川	251	8	171	27	45	485	23	322	99	41	736	828	1,187

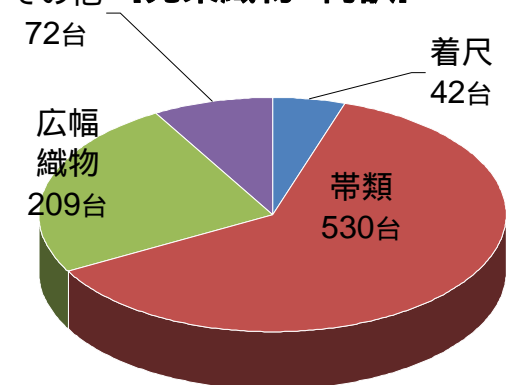
【織物別織機台数】



【後染織物 内訳】



【先染織物 内訳】



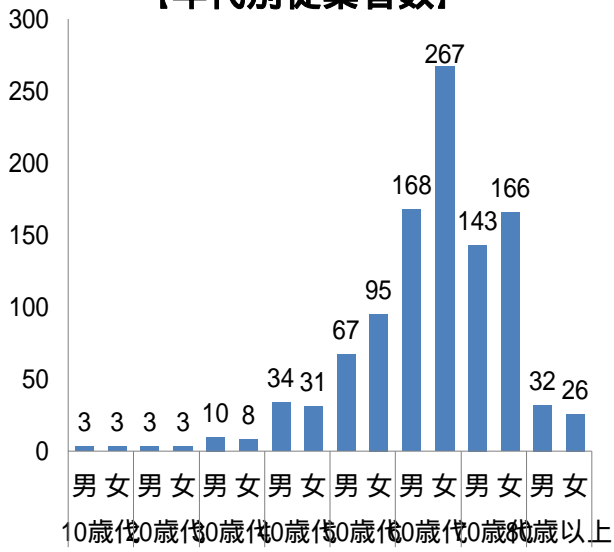
8. 従業者数

地域別	総従業者数																				H20年度	H17年度
	総合計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
与謝野町	1,059	460	599	3	3	3	3	10	8	34	31	67	95	168	267	143	166	32	26	1,262	1,714	
加悦	307	134	173	0	0	1	0	3	3	10	9	20	31	53	82	40	43	7	5	362	475	
岩滝	296	127	169	0	0	2	1	3	2	14	16	20	25	35	74	45	47	8	4	341	519	
野田川	456	199	257	3	3	0	2	4	3	10	6	27	39	80	111	58	76	17	17	559	720	

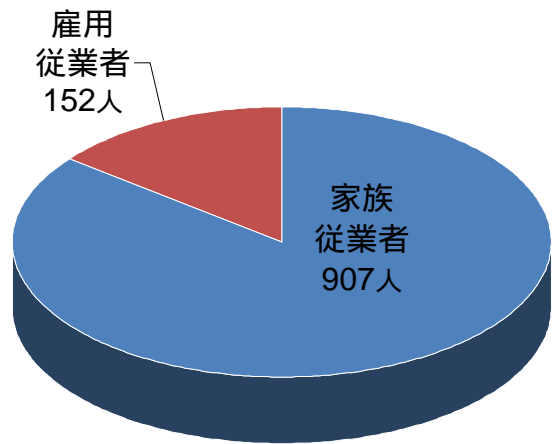
地域別	総従業者数の内家族従業者数																				H20年度	H17年度
	総合計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
与謝野町	907	410	497	3	2	2	2	9	4	25	17	49	62	151	225	139	159	32	26	1,015	1,412	
加悦	266	123	143	0	0	1	0	3	1	9	3	15	21	49	71	39	42	7	5	289	398	
岩滝	223	101	122	0	0	1	1	2	2	10	10	12	14	25	48	43	43	8	4	232	347	
野田川	418	186	232	3	2	0	1	4	1	6	4	22	27	77	106	57	74	17	17	494	667	

地域別	総従業者数の内雇用従業者数																				H20年度	H17年度
	総合計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
与謝野町	152	50	102	0	1	1	1	1	4	9	14	18	33	17	42	4	7	0	0	247	302	
加悦	41	11	30	0	0	0	0	0	2	1	6	5	10	4	11	1	1	0	0	73	77	
岩滝	73	26	47	0	0	1	0	1	0	4	6	8	11	10	26	2	4	0	0	109	172	
野田川	38	13	25	0	1	0	1	0	2	4	2	5	12	3	5	1	2	0	0	65	53	

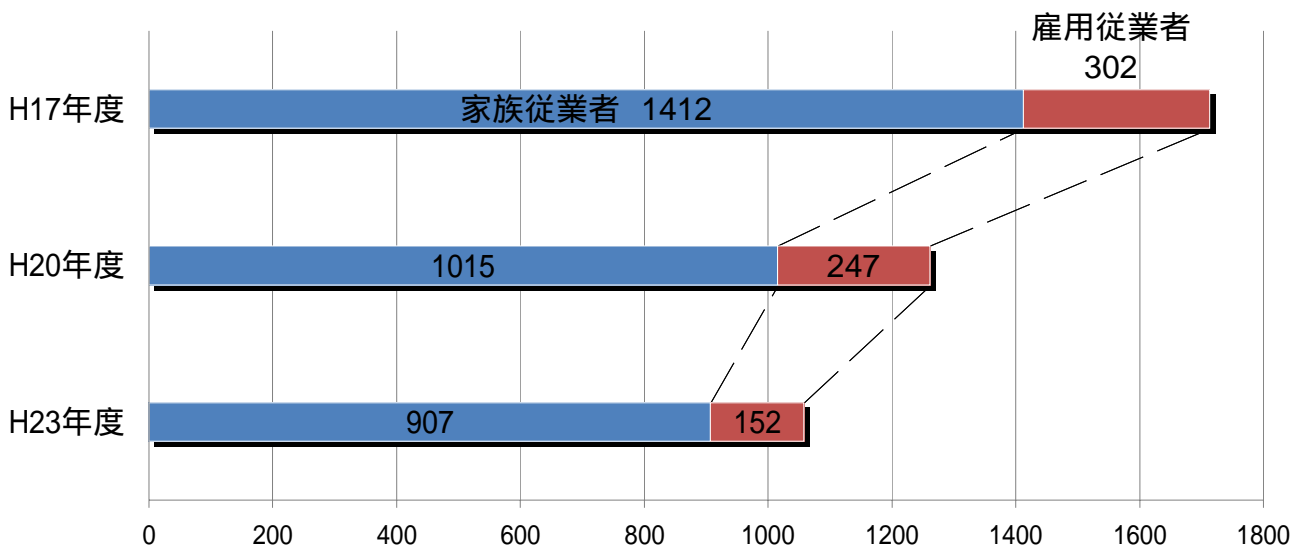
【年代別従業員数】



【家族従業員・雇用従業員別】

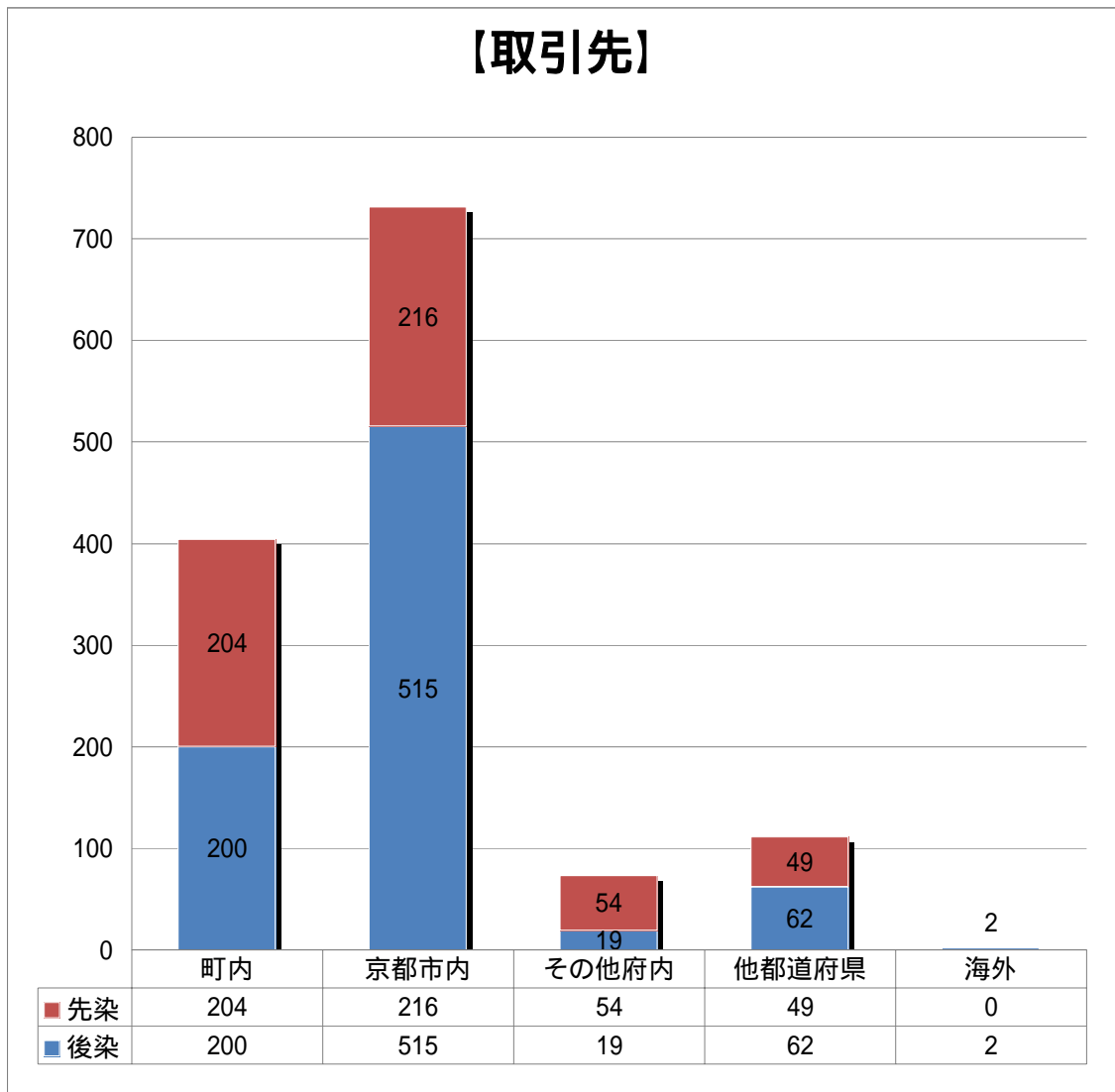


【従業員数の変遷】



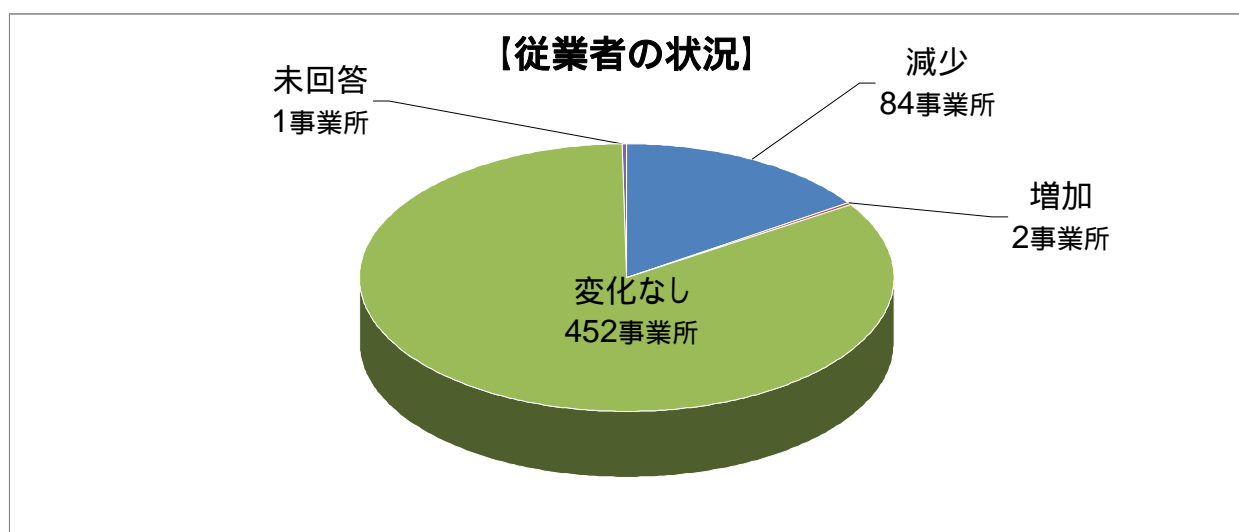
9 . 取引先

織物種別	町内	京都市内	その他府内	他都道府県	海外	合計
後染	200	515	19	62	2	796
先染	204	216	54	49	0	523
合計	404	731	73	111	2	1,319



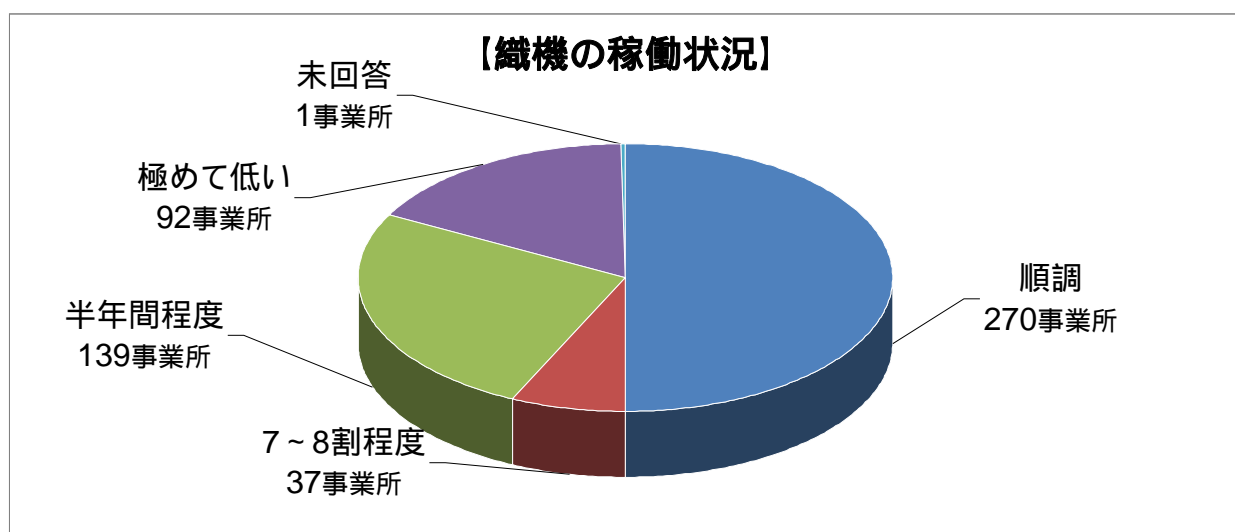
10. 従業員の状況

地域別	事業所数	減少							増加	変化なし	未回答
		小計	常勤 他業種	パート 他業種	高齢化	退職	その他	未回答			
与謝野町	539	84	1	3	49	11	5	15	2	452	1
加 悦	165	23	0	2	12	1	1	7	1	140	1
岩 滝	117	17	0	0	9	7	0	1	0	100	0
野田川	257	44	1	1	28	3	4	7	1	212	0



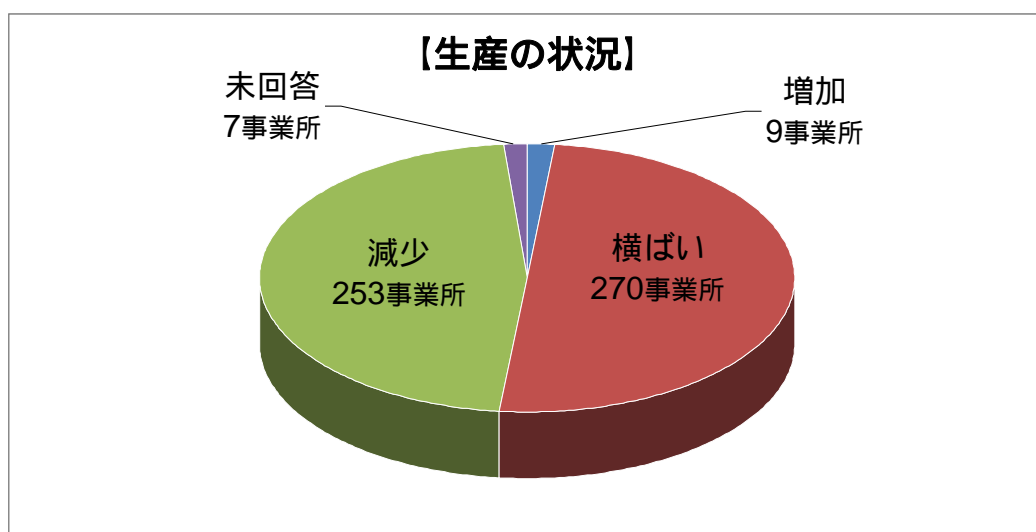
1 1 . 織機の稼働状況

地域別	事業所数	稼働状況					構成比				
		順調	7～8割程度	半年間程度	極めて低い	未回答	順調	7～8割程度	半年間程度	極めて低い	未回答
与謝野町	539	270	37	139	92	1	50.1%	6.9%	25.8%	17.1%	0.2%
加 悦	165	83	11	42	29	0	15.4%	2.0%	7.8%	7.8%	0.0%
岩 滝	117	58	10	25	24	0	10.8%	1.9%	15.2%	4.6%	0.0%
野田川	257	129	16	72	39	1	23.9%	3.0%	61.5%	13.4%	0.2%



12. 生産の状況

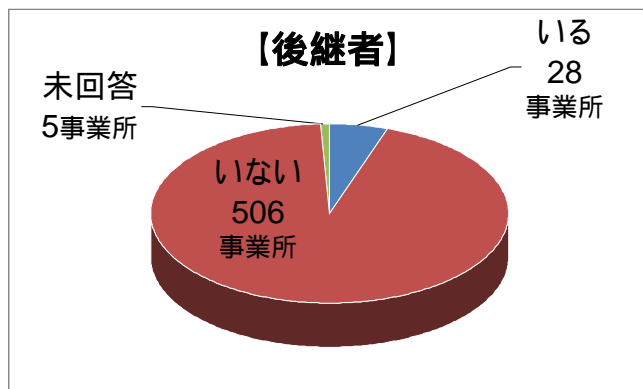
地域別	事業所数	生産の状況				構成比			
		増加	横ばい	減少	未回答	増加	横ばい	減少	未回答
与謝野町	539	9	270	253	7	1.7%	50.1%	46.9%	1.3%
加悦	165	2	82	79	2	0.4%	15.2%	14.7%	0.4%
岩滝	117	2	55	57	3	0.4%	10.2%	34.5%	0.6%
野田川	257	5	133	117	2	0.9%	24.7%	100.0%	0.4%



13. 今後の機業経営

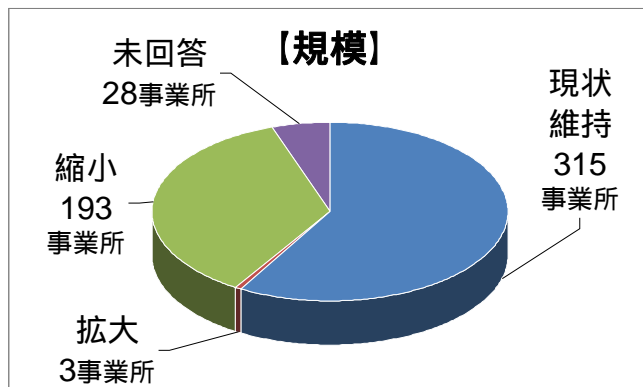
後継者

地域別	事業所数	いる	いない	未回答
与謝野町	539	28	506	5
加悦	165	10	155	0
岩滝	117	8	106	3
野田川	257	10	245	2



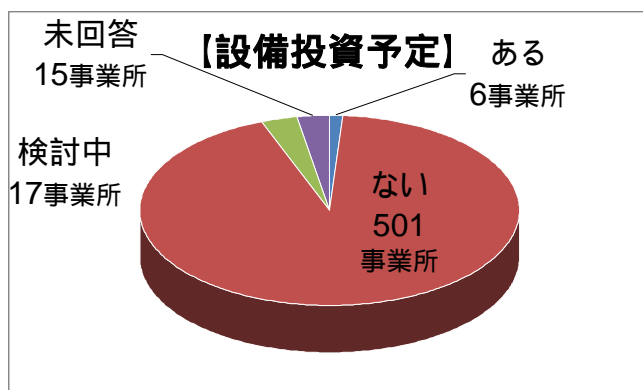
規模

地域別	事業所数	現状維持	拡大	縮小	未回答
与謝野町	539	315	3	193	28
加悦	165	105	1	56	3
岩滝	117	69	0	37	11
野田川	257	141	2	100	14



設備投資予定

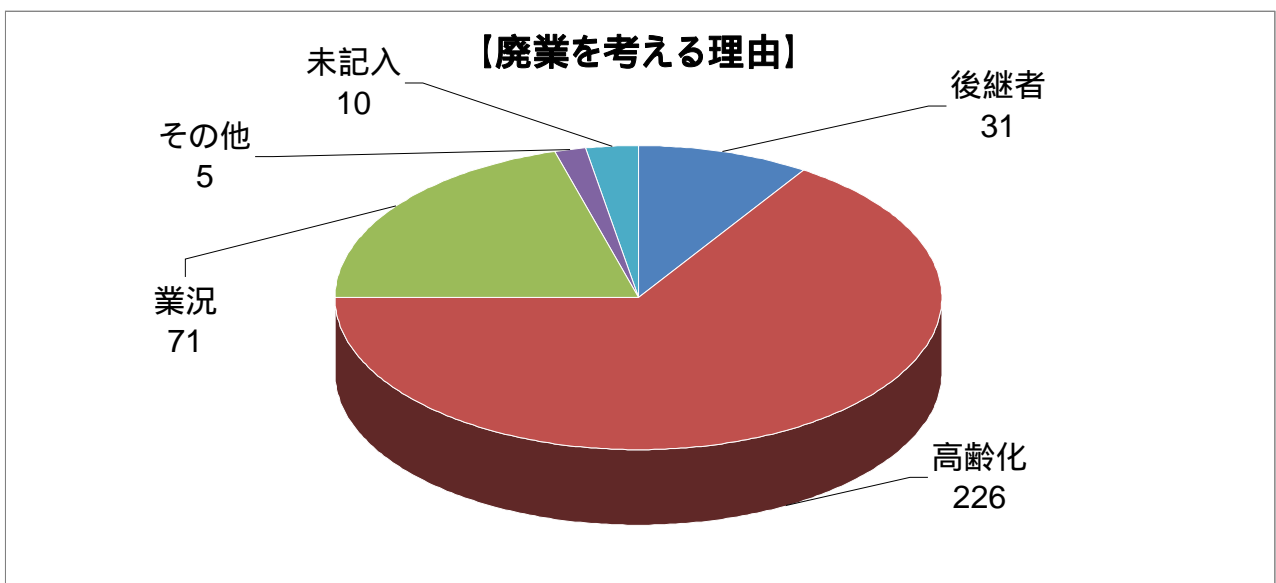
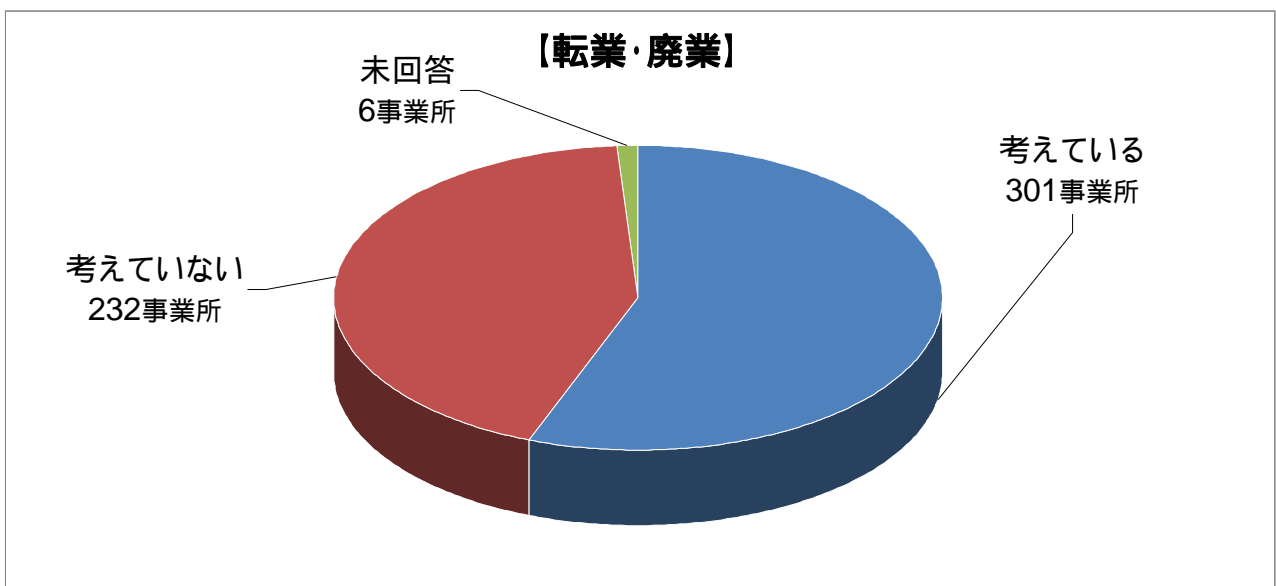
地域別	事業所数	ある	ない	検討中	未回答
与謝野町	539	6	501	17	15
加悦	165	1	158	5	1
岩滝	117	1	101	6	9
野田川	257	4	242	6	5



転業・廃業

地域別	事業所数	考えている			考えていない	未回答
		合計	転業	廃業		
与謝野町	539	301	5	296	232	6
加悦	165	88	2	86	77	0
岩滝	117	64	1	63	49	4
野田川	257	149	2	147	106	2

廃業を考える理由（複数回答可）				
後継者	高齢化	業況	その他	未記入
31	226	71	5	10
9	63	24	2	2
7	50	13	1	2
15	113	34	2	6



< 参考資料 > 経営組織別集計データ

組織別	事業所数	事業所実態別				織物の種類				
		手張が主	賃機が主	両方	未回答	後染	先染	両方	その他	未回答
株式	22	19	1	2	0	13	3	6	0	0
有限	6	3	2	1	0	3	3	0	0	0
個人	510	33	466	11	0	155	333	22	0	0
その他法人	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	539	56	469	14	0	172	339	28	0	0

組織別	従業者数								
	総合計			家族従業者			雇用従業者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
株式	157	68	89	54	32	22	103	36	67
有限	28	15	13	13	7	6	15	8	7
個人	871	376	495	838	370	468	33	6	27
その他法人	3	1	2	2	1	1	1	0	1
合計	1,059	460	599	907	410	497	152	50	102

組織別	生産の状況				後継者		
	増加	減少	横ばい	未回答	いる	いない	未回答
株式	2	11	9	0	8	13	1
有限	0	1	5	0	2	4	0
個人	7	240	255	7	18	488	4
その他法人	0	1	0	0	0	1	0
合計	9	253	269	7	28	506	5

組織別	規模				設備投資				転業・廃業			
	現状維持	拡大	縮小	未回答	ある	ない	検討中	未回答	転業・廃業	廃業	考えていない	未回答
株式	13	2	7	0	2	18	2	0	0	3	18	1
有限	4	0	2	0	0	6	0	0	0	3	3	0
個人	0	1	184	28	4	476	15	15	5	289	211	5
その他法人	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
合計	17	3	193	28	6	501	17	15	5	296	232	6

平成23年度与謝野町織物実態統計調査票

この調査は、本町の織物業の実態を把握し、織物業の振興を図る上での基礎資料を得ることを目的としています。また、この調査票は秘密を保持するため、目的以外には使用されません。

事業所の名称	
事業所の所在地	与謝野町字 番地
電話番号	0772 ()

<事業所について>

- 経営実態別
 操業中 休業中 「6」 と 「14」 欄の記入で調査終了です。
- 経営組織別
 株式 有限 個人 その他法人 ()
- 事業所実態別
 手張 賃機 両方
- 織物の種類
 後染 先染 両方
- 専業・兼業別
 専業 兼業 (農業 ・ サービス業 ・ 給与所得 ・ その他 < >)

<織機台数・織機別台数について>

- 工場内にある織機台数を稼働・非稼働別に記入してください。

合計台数 【A】	内 訳				
	稼働台数 【B】	非稼働台数【C】			
		1ヵ月未満	1～6ヵ月未満	7～11ヵ月未満	1年以上
台	台	台	台	台	台

- 織物別稼働織機台数(「6」の稼働台数【B】)を織物別に記入してください。

後 染 織 物				先 染 織 物				計
無地 織物	紋 織物	小物 織物	広幅 織物	着尺	帯類	広幅 織物	その他	
台	台	台	台	台	台	台	台	台

<従業員について>

- 実際に従事している従業員(常勤役員含む)の数を記入してください。

区 分		10歳 代	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上	計
家族 従業員	男									
	女									
雇用 従業員	男									
	女									

<取引先について>

- 取引先の数を織物・地域別に記入してください。

	与謝野町内	京都市内	その他府内	他都道府県	海外
後染織物	件	件	件	件	件
先染織物	件	件	件	件	件

<最近の状況について>

- 従業員の状況(前年との比較)
 減少 ア.常勤で他の業種に変わった()
 イ.非常勤(パート・アルバイト等)で他の業種に変わった()
 ウ.高齢化 エ.退職 オ.その他
 増加 変化なし
- 平成23年中(1～12月)の織機稼働状況(対象:稼働可能な状態にある全織機)
 1年間順調に稼働した 半分程度の稼働であった
 稼働率は極めて低かった(割程度)
- 生産の状況(前年との比較)
 増加(割) 減少(割) 横ばい

<今後の経営について>

- 今後の機業経営について
 後継者は(いる ・ いない)
 規模は(現状維持 ・ 拡大 ・ 縮小)
 設備投資の予定は(ある ・ ない ・ 検討中)
 近い将来、転業・転職・廃業を(考えている ・ 考えていない)
 考えている方にお聞きします。それは次のいずれですか。
 ア.転業・転職(業種)
 イ.廃業 理由(後継者不足 ・ 高齢化 ・ 厳しい業況 ・ その他)

<ご意見・ご要望について>

- 国、府、町、商工会、丹工等に対してご意見やご要望があれば記入してください。
 (例:新商品開発への支援、情報の提供、販路開拓への支援、補助・金融制度の拡充など)

調査票記入責任者 (本票の内容に回答 できる方)の氏名	調査員 氏名
-----------------------------------	-----------

ご協力ありがとうございました

平成 23 年度 与謝野町織物実態統計調査報告書

作 成：与謝野町商工観光課

〒 6 2 9 - 2 2 9 2 京都府与謝郡与謝野町字岩滝 1 7 9 8 番地 1

TEL : 0 7 7 2 - 4 6 - 3 2 6 9 FAX : 0 7 7 2 - 4 6 - 2 8 5 1

E-mail : syokokanko@town.yosano.lg.jp